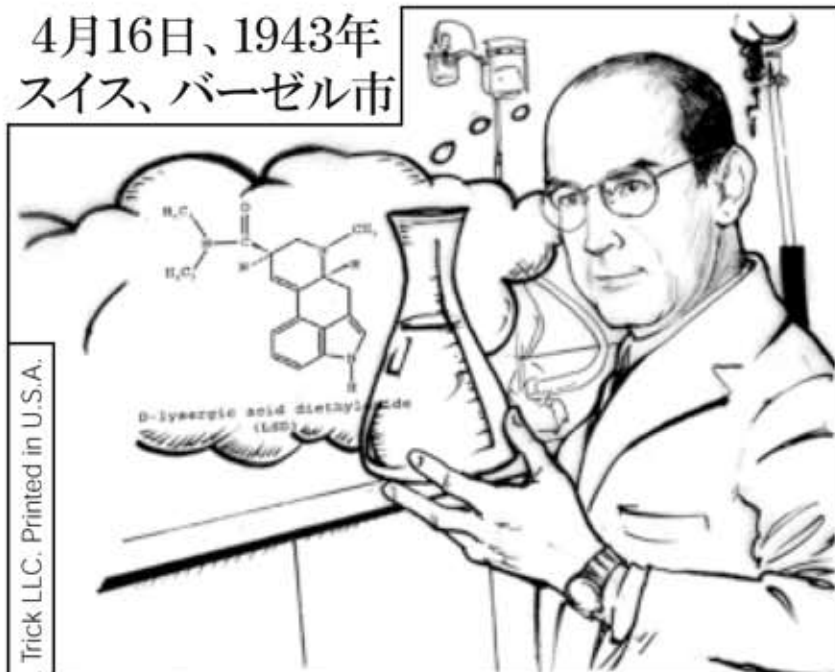




CHEMICAL SALVATION? 科学が魂を救う?

J.C.T.

4月16日、1943年
スイス、バーゼル市



© 2006 by Jack C. Trick LLC. Printed in U.S.A.

スイスの名門製薬会社、サンド製薬の
アルバート・ホフマン博士が5年前に合成
した新成分、リセルゲ酸ジエチルアミド-25
(LSD)を再び合成しました。

作業中にホフマン博士は
目まいなどの症状を感じ...

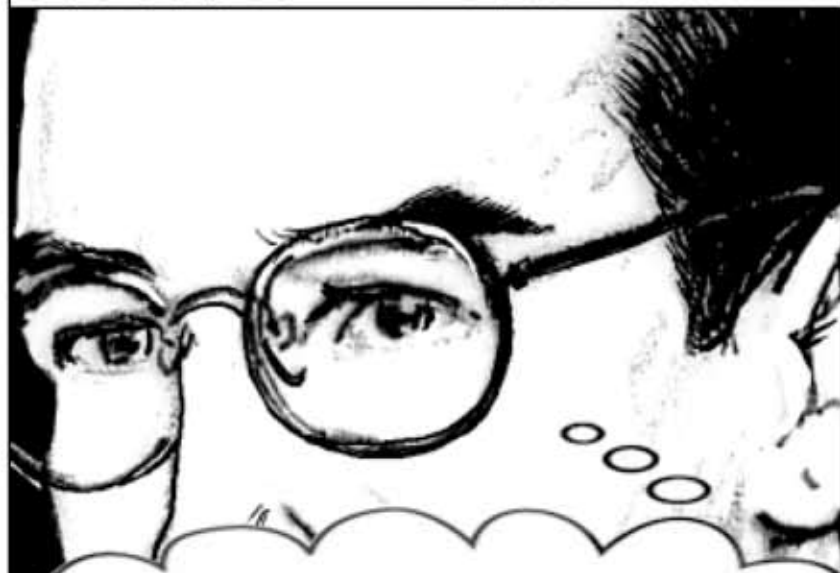




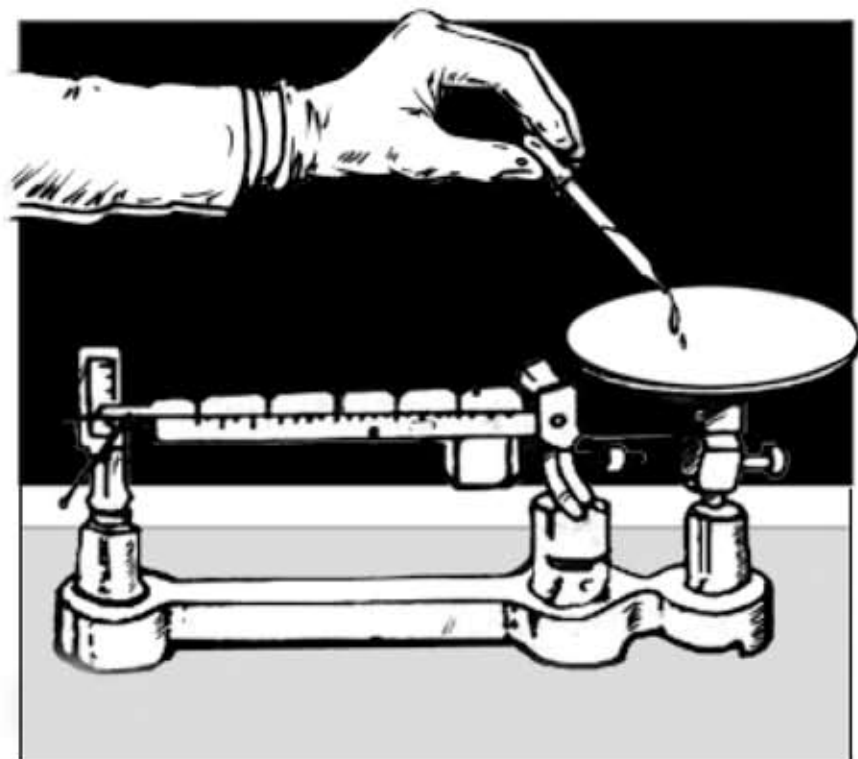
うーん、頭の中が
万華鏡のようだ...

...2時間ほどの間、夢のような幻想世界を体験しました。それは誤って体内に吸収したLSDの作用によるものではないかと3日後には考えるようになります。

実験室に戻ったホフマン博士は自己実験をすることを決意しました。

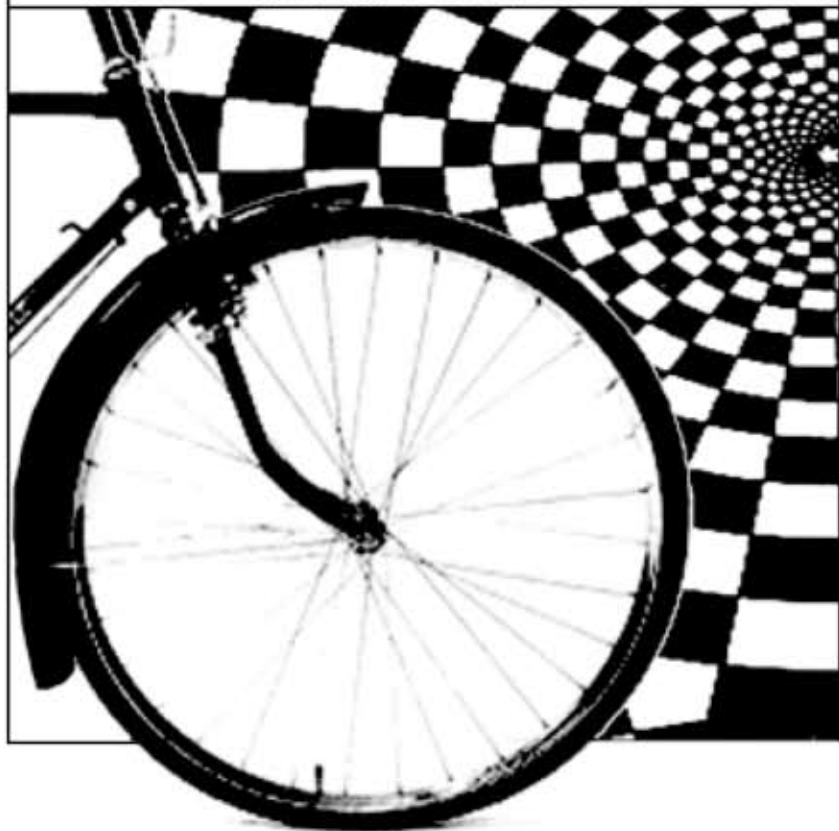


麦角アルカロイドは強力だから
服用量を最小限に抑えよう...



*それは250マイクログラム、作用を感じるために必要な量の約10倍でした！

薬を服用した40分後にホフマン博士は
強い目まいを感じ、自転車に乗って
家に帰りました。



世界は完全に変質していて...



牛乳を持ってきてくれた近所のお婆さんは
魔女に変身してしまいました。





し、死んだのか？*

*自分の死を体験する感覚はLSDトリップの神秘的な一角として多くの人に指摘されます。

しだいに恐怖は治まり、
ホフマン博士はカラフルで流動的な
脳内映像を楽しめるようになりました。





そして、やがて寝ることも出来ました。

サンド社の同僚達はホフマン博士が飲んだ3分の1の量でも強力な体験をし、LSDの作用を認めました。





LSDの発見以前、この種の作用を起こす薬物はサボテンのペヨーテしか知られていませんでした。しかしペヨーテは250から400ミリグラムと、はるかに多い服用量を必要としたのです。



ペヨーテはコロンブスの渡米以前から、神聖な薬物として、ネイティブ・アメリカンの儀式に用いられていました。

1950年代の中頃、サンド社は
心理学等の研究に役立つ可能性が
高いと見て、調査用のLSDを多くの学者に
無料で配布しました。



その内の一人は、チェコスロバキアの
プラハ医科大学で研究を進めていた
心理学者、スタニスラフ・グロフ氏でした。

サンド社はLSDが精神症状誘発剤*としての可能性を持っていると発表していました。



November 3, 1956

Dear Prague School of Medicine,
Enclosed please find some samples
of a new drug that we think you'll
be crazy about.

*精神異常の症状を一時的に促す薬

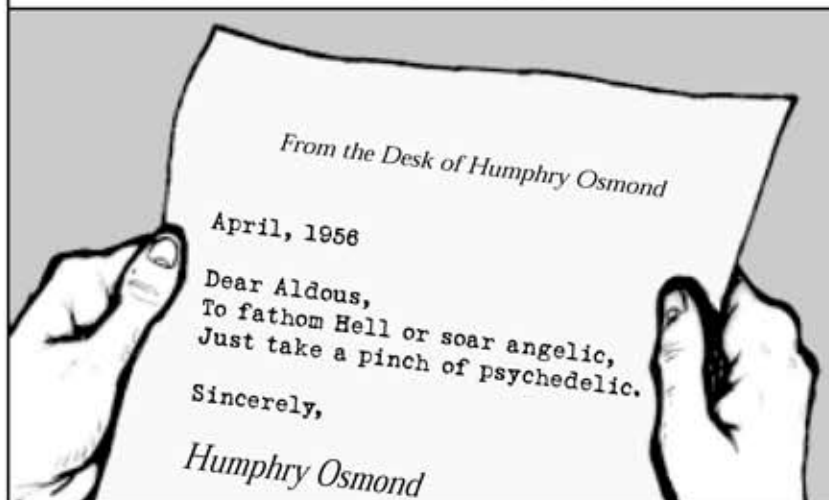
私は...
全てだ。



しかしグロフ氏を始めとする多くの学者は、
LSDが数々の宗教や聖典等に表される
超個人的な意識へのアクセスを可能にする
薬だという意見を唱えました。

1956年に、著者オルダス・ハクスリー宛の手紙で精神分裂症研究者のハンフリー・オスモンド氏は

LSDや、LSDに似た一連の薬を表すために「サイケデリック」という言葉を提案しました。「意識を露にする」という意味の言葉です。



1979年に「エンセオジェン」という新たな言葉が提案されました。「心に神を生み出す」という意味で、これらの薬や植物に対する民族学的な考えを強調しています。

オスモンド氏は同僚のアブラム・ホッファー氏と共にLSDをアルコール中毒の治療に成功させました。

アルコールクス・アノニマス*の創設者、ビル・ウィルソンを治療したのも彼らだったのです。
(*無名のアルコール依存症者たち)



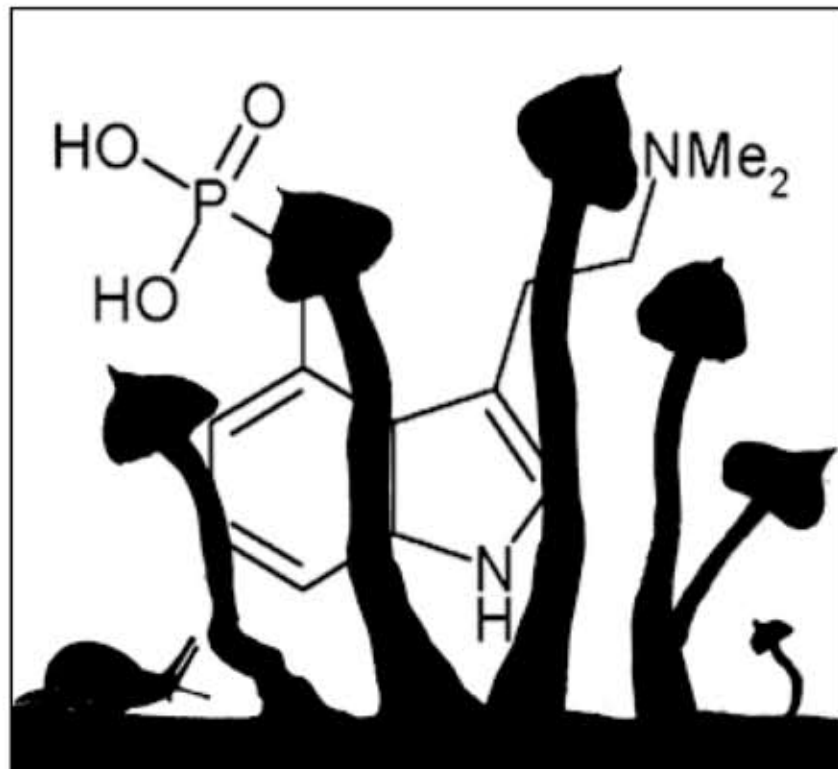


オスカー・ジャニガー、マイロン・ストラロフ
ジェームズ・ファディガン等の研究者は
LSDが想像力を高めることを指摘しました。

心理学者のゲリー・フィッシャー氏はLSDで
子供の自閉症を治療することに成功しました。



同時期に、ホフマン博士は様々な薬草の研究にあたっていました。原住民が Ololiuhqui と呼ぶ朝顔の種には LSD の仲間のリセリジグ酸が見つかり...

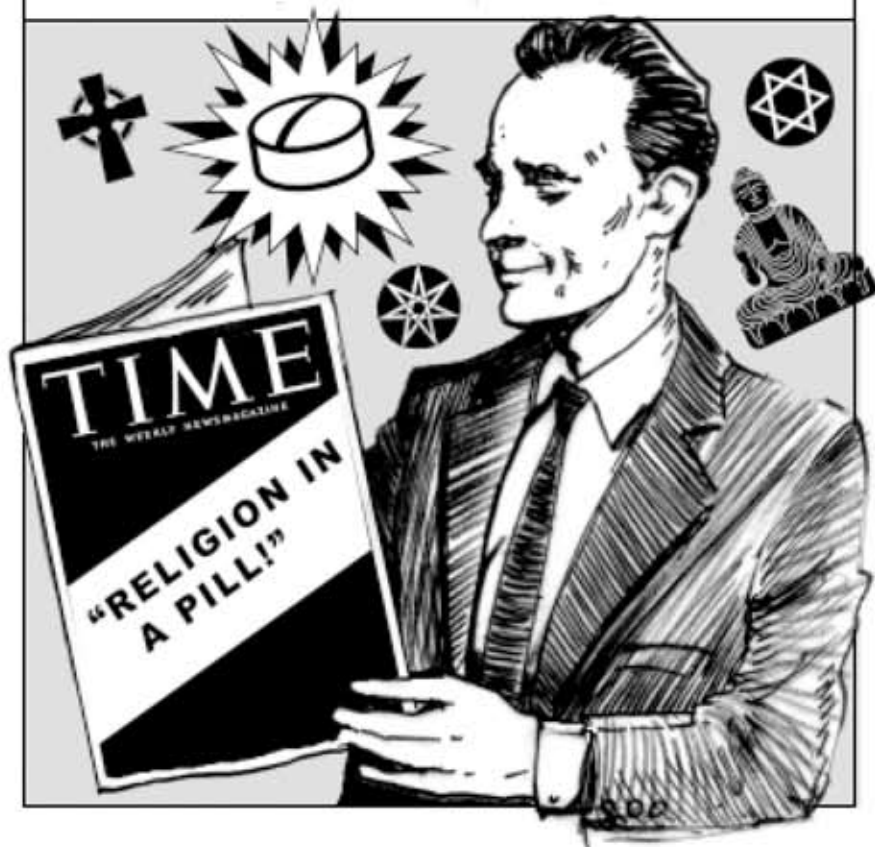


Teonanacatl(マジック・マッシュルーム)からはシロシピンとシロシンが発見されました。

これらの植物は太古の昔から神聖とされていたものでした。なので、ウォルター・パンキ氏がハーバード大学の神学校で「聖金曜日実験*」を実施し、シロシピンが人間に深い神秘体験を与えることを証明できたのも、あたりまえの結果と言えるのです。（*グッド・フライデー・エクスperiment）



ウォルター・ヒューストン・クラーク氏やヒューストン・スミス氏等の宗教学者もこの実験の結果を認めました。





"TURN ON, TUNE IN, DROP OUT!"

...その責任を主にかぶされたのはハーバード
大学教授のティモシー・リアリー博士でした。

ラルフ、ティック、
聞いてくれよ...



リチャード
アルバート
(後のラムダス)

ラルフ
メツナー

ティモシー
リアリー

**League of
Spiritual
Discovery**

Doors of Perception
To Remain Unlocked
During Office Hours

若者達のサイケデリック体験を
僕達がサポートしてあげなくちゃ...
彼らが未来なんだから!

LSDはいずれ実験室から流出し、
世界に広まる運命にあったと言えますが...

俺らって、
超クビじゃん!

しかし、多くの人がサイケデリクスを試すにつれ、被害者も現れました。これらの薬が意識に及ぼす強力な影響にたえられない人もいたのです。



ロックンロールやフリーラブ、
男性の長髪や戦争反対デモ等、
1960年代の反抗的な社会変動も...



...LSDやマリファナ（大麻）等の
快楽的なドラッグの流行が
原因とされ...



麻薬取締局（DEA）の創立やサイケデリクス
の違法化、ドラッグディーラーやユーザー
の厳しい取締へとつながりました。

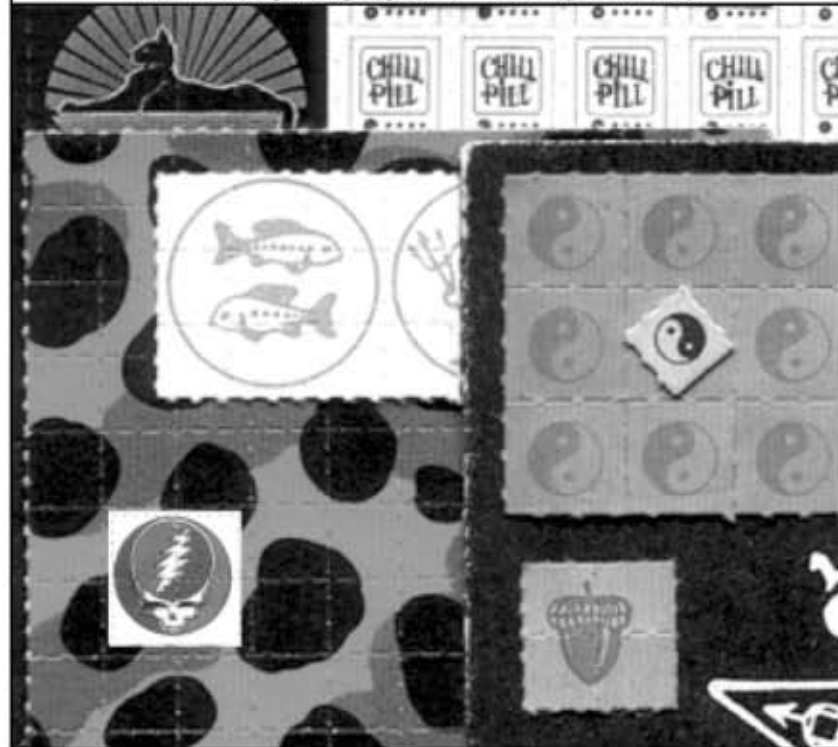


アメリカは自らの国民に「宣戦布告」をし、
全世界はその行動を真似ました。



そして、政府が認めていた多くの
研究も全て中断させたのです。

それでも、アンダーグラウンドでは、
70年代、80年代、90年代、2000年代と
LSDは常に出回っていました。



LSDは明らかに薬品として、そして精神的な手段としての価値があったのです。この状況を受け、1980年代から90年代にかけて、多くの自主的なサイケデリック研究団体が生まれました。

VOLUME 1 — 1998

THE HEFFTER REVIEW
OF PSYCHEDELIC RESEARCH

**Multidisciplinary Association
for Psychedelic Studies**
Summer, 1989
by Rick Doblin

Switzerland Leads the Way

Great News! Finally, somewhere in the world, psychedelic research with MDMA is taking place. About two years ago, over 30 Swiss psychia-

**THE ENTHEOGEN
REVIEW**

Vol. 1, No. 1, September 1992
James B. DeKorne

This is a newsletter. Its purpose is to keep you abreast of the latest information concerning the shamanic use of entheogenic plants. It will be published quarterly — on the solstices and equinoxes — and will comprise a clearing-house for hard-to-find empirical data on growing techniques, extraction procedures, and dose information.

— www.erowid.org —

支援をおねがいします！

ドラッグの正確な情報をサポートするためにも
EROWIDのメンバーになってみませんか？

ASK EROWID

Q: どなたか2T-C-special-Gを試した事がありますか？ 作用はどんなものでしか？

A: 2T-C-special-Gは様々な物質を表す
適当な名前で、特定のものではありません...

90年代になると、インターネットを通して
LSDや他のサイケデリクスについて正確な
情報が簡単に得られるようになりました。

そして、LSDを使った実験は現在、再び認められつつあります。

微量の
LSDで群発頭痛を治す
ことができます*...

うーん
本当かも...

A. Sewell

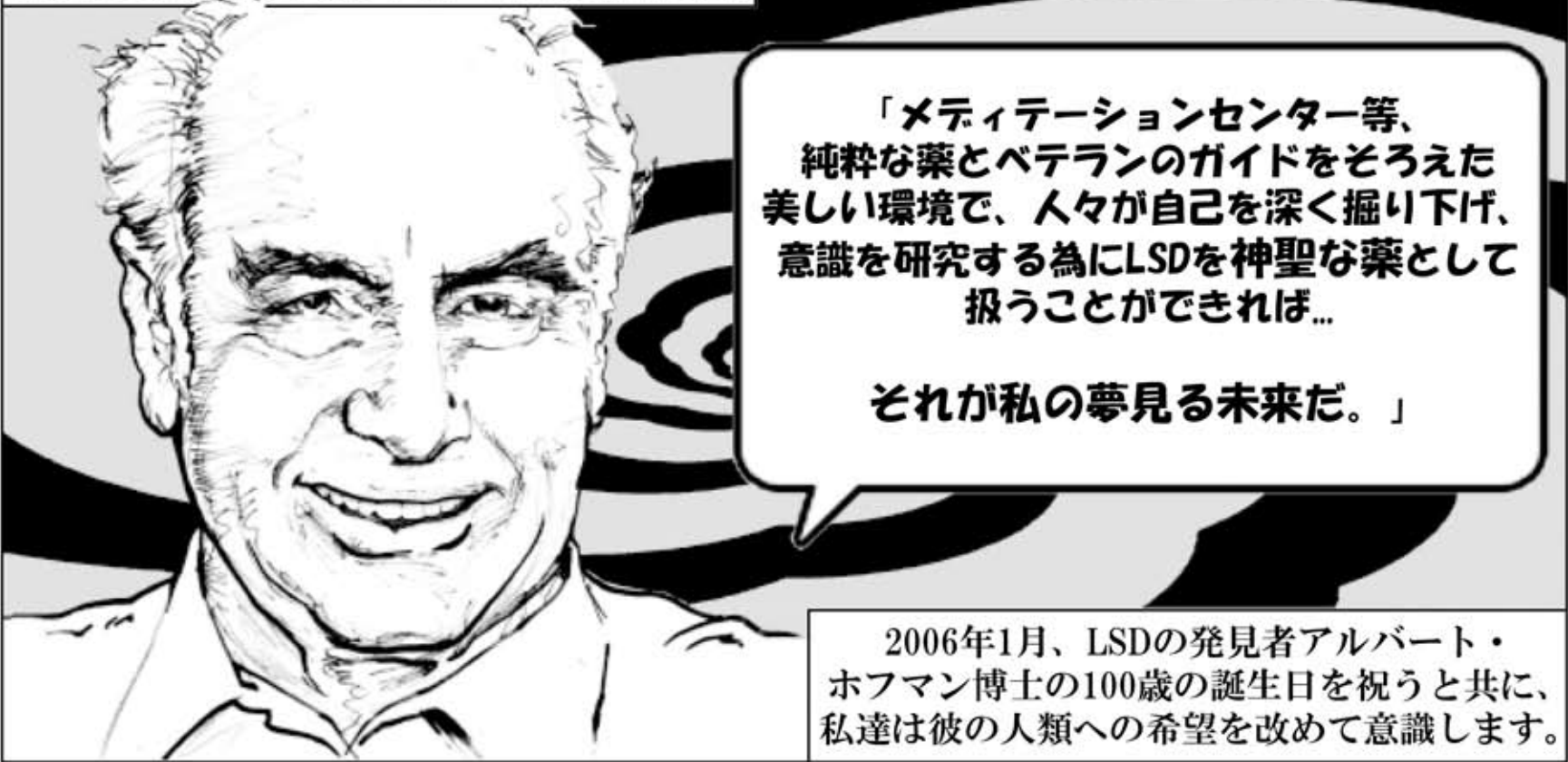
DEA

*詳しくはwww.clusterbusters.comへ



...LSDはガン患者の不安や
恐怖の改善にも効果的です。

博士が夢見た日はそう遠くないのかもしれない。



「メディテーションセンター等、
純粋な薬とベテランのガイドをそろえた
美しい環境で、人々が自己を深く掘り下げ、
意識を研究する為にLSDを神聖な薬として
扱うことができれば...

それが私の夢見る未来だ。」

2006年1月、LSDの発見者アルバート・
ホフマン博士の100歳の誕生日を祝うと共に、
私達は彼の人類への希望を改めて意識します。

世界の救世主は エンセオジェンしかありません

様々な植物や薬品には、人間に超越的なスピリチュアル・リアリティーの真実を深く感じ取らせる手助けをする作用があります。

アルバート・ホフマン博士が言ったように、

「この体験は数々の聖人や宗教の教祖が表したものと同じです。実に、人類が運命的に向かっている「天国」の正体なのです。ただ、他の人の体験談を聞くことによって知る神秘と、エンセオジェンを含む様々なきっかけを通して、直接体験する神秘とでは大きな違いがあります。」 -Ott 1993: 12

全ての宗教はエンセオジェン ドラッグ体験が起源だったのか

R.ゴードン・ワッスン氏が言ったように

「その時点で神秘が生まれたのです。宗教や教えにとらわれない純粋な神秘... 暗い夜に、声を潜め、恐れと敬いの心で飲み込まれた「神聖要素」の元で。世界で最初のエンセオジェン体験は最初の「奇跡」、そして唯一の「奇跡」だったのかもしれない。その瞬間にエンセオジェンの時代が始まったのです...太古の昔に...」

-Wasson 1986: 78

TRICK PUBLICATIONS

サイケデリック・ドラッグと、人間の宗教性や神秘性の根源とのかかわりをもっと詳しく調べたい方は、インターネットを使って“ENTHEOGEN”又は「エンセオジェン」を検索してください。

注意

本当の神秘体験を追求すると、迫害されたり、法的に罰される恐れがあります。
くれぐれも気をつけてください。

Compliments of: